

# 終活支援に関する市民アンケート 調査結果

## 公営の墓地・納骨堂・火葬場等を含む市民への終活支援について

回答総数 642件 (市内 583 / 市外 48 / 無回答 11) 実施期間 令和8年2月5日～3月31日 主な回答層 60～70代 (51.3%)

問5 <b>90.7%</b> 自身の住む自治体に火葬場があれば利用したい	問11 <b>87.5%</b> 生前に火葬・遺骨の扱いを市役所で決めておける仕組みを望む	問18 <b>80.1%</b> 安価で利用できる公営斎場・火葬場の整備を希望	問10 <b>63.9%</b> 市内に公営の樹木葬・合葬墓地があれば利用したい
---	---	---	--

### 01 終活への意識・認知

- 自身の葬儀について考えたことがあるが **83.6%** (問2)
- 「墓じまい」問題の認知度は **91.1%** と高い (問9)
- 都市部の「火葬待ち」問題を **83.3%** が認知 (問7)
- 一方、市内外で火葬料金が異なることは **52.0%** が知らない (問6)

### 02 希望する葬儀の形 (問2) n=537

家族葬	54.9%
葬儀なし・直葬	21.4%
一日葬	11.7%
一般葬 (通夜・告別式)	7.6%

### 03 お墓・遺骨の希望 (問3・問4)

- 入るお墓がある **58.3%** / ない **38.0%**

個別区画でのお墓へ埋葬	40.7%
樹木葬	20.4%
合葬埋葬	13.4%
海や山への散骨	13.2%

### 04 公営施設への需要と費用許容度

- 公営の納骨堂があれば利用したい **63.2%** (問8)
- 永代使用料は **30万円未満**を許容上限とする回答が **80.7%** (問10-2 / n=353)
- 内訳は 10万円未満 **40.5%**、10～30万円 **40.2%**

### 05 葬儀経験者が直面した課題 喪主経験 48.1%

- 葬儀費用が **100万円以上**だった世帯が **約58%** (問15 / n=301)
- 火葬・式場の予約待ちが **3日以上**に及んだ例が **約72%**。7日以上も **9.6%** (問17)
- 困りごと：費用が高額 **46.6%** / 予約が取れず **25.5%** / 役所手続が煩雑 **20.1%** (問16)

### 06 行政に望む支援 (問18) n=297・複数回答

安価な公営斎場・火葬場の整備	80.1%
手続を一括で行う窓口 (おくやみコーナー)	68.7%
葬儀費用の助成・補助制度	54.5%
信頼できる葬儀社の情報提供	47.1%

### 07 自由記述に表れた主な意見

- 「府中市の市民聖苑のような公営の火葬場・斎場を調布市にもぜひ整備してほしい」
- 「身寄りがなく死後の手続を頼める人がいない。生前に市が請け負う仕組みがあれば安心」
- 「火葬待ちで遺体保管に高額な費用がかかった。市民を優先する火葬施設が必要」
- 「子に負担を残したくない。住み慣れた調布で良心的な価格の合葬墓地・樹木葬を望む」

#### 調査の要点

多死・高齢化と単身世帯の増加を背景に、市民の約9割が市内火葬場を、約8割が安価な公営施設と生前手続きの仕組みを求めている。費用負担と火葬待ち、身寄りのない人の不安が共通の課題であり、近隣市との連携も視野に、誰もが公平に利用できる公営施設の整備と一括相談窓口の検討が求められる。